

可能な軽症のタイプは「ベッカー型」で、下腿の筋が萎縮する。

- 4 ○ **二分脊椎**は、胎児期における器官発生障害で、主に腰の**脊椎の癒合不全**によって、**脊髄が腰から突出する**などした状態をいう。
- 5 × **脊髄損傷**は、スポーツでの事故や交通事故などによって脊髄が損傷を受け、**損傷部位から下の脊髄機能が失われた状態**をいう。

**問題7**      **正解 2**      ●——前頭側頭型認知症      **重要度★★**

●認知症の原因となる疾患には、アルツハイマー型認知症や脳血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症などがある。それぞれの疾患の原因や症状の特徴などについて理解しておく。

教科書(共) CHAPTER 1・SECTION 5

- 1 × 片麻痺は、**脳血管性認知症**で主にみられる症状である。
- 2 ○ 前頭側頭型認知症では、主に**滞続言語、常同行動、人格の変化、反社会的な行動**などの症状がみられる。
- 3 × もの盗られ妄想は、**アルツハイマー型認知症**で主にみられる症状である。
- 4 × 具体的な幻視は、**レビー小体型認知症**で主にみられる症状である。
- 5 × 感情失禁は、**脳血管性認知症**で主にみられる症状である。

心理学理論と心理的支援

**問題8**      **正解 1**      ●——知覚      **重要度★★**

●知覚とは感覚情報を基にして外界の様子を知る働きのことをいう。人が利用する知覚情報の約8割が視覚情報だといわれている。

教科書(共) CHAPTER 2・SECTION 1

- 1 ○ 錯視とは**目の錯覚**で、見え方が物理的性質と異なってしまうことである。
- 2 × 知覚の体制化とは、知覚世界を意味づけて、**まとまりのあるものへと作り上げる**ことをいう。記述は、**知覚の恒常性**についての説明である。
- 3 × 知覚の恒常性とは、物理的刺激にもかかわらず、大きさ、形、色、明るさを**同一に保とうとする働き**のことをいう。記述は、**知覚の体制化**についての説明である。
- 4 × 明順応とは、暗い場所から急に明るい場所に出ると、最初は周囲がよく見えない状態でも**徐々に見えるようになる現象**をいう。記述は、**暗順応**の説明である。
- 5 × 知覚的補完とは、対象の物理的視覚情報が一部欠如していても、**欠如した視覚情報を補って知覚される**ことをいう。

**問題9**      **正解 3**      ●——記憶      **重要度★★★**

●記憶は、記銘(情報を入力)、保持(入力した情報を保つ)、想起(保った情報を引き出す)の3つの過程をたどる。

教科書(共) CHAPTER 2・SECTION 1

- 1 × 作動記憶とは、例えば暗算をするために、計算に必要な数字を覚えておきながら計算をするなど、**短期記憶**における作業をする際に**必要な情報を短時間だけ保つ**記憶のことをいう。
- 2 × 長期記憶の容量は**無限**といわれている。7±2チャンクは**短期記憶**の容量である。
- 3 ○ 記述のとおりである。意味記憶は**長期記憶**に分類される。
- 4 × 手続き記憶とは、自転車の運転や技能など**体で覚えた記憶**のことをいう。記述は、**エピソード記憶**の説明である。
- 5 × 展望記憶とは、「○月○日に友人と会う」など、**今後の予定に関する記憶**のことで、将来の目標のことではない。